

【原稿募集についてのお願ひ】

佐伯史談第二一五号掲載の原稿を募集致します。

次回の締め切りは二月末です。

書式、枚数等は自由です。原則として

一、原稿は二十五字×二十行 二十枚まで

一、内容は佐伯市の歴史・地理・政治・文化人物等に関わるものなら何でも。

形態は、研究・論文・意見・随筆・紀行文
報告・調査・昔話・伝説・資料紹介、民俗
民芸・季節歳時記、思い出、グループ紹介等
なんでも結構です。

次のような記事、原稿はありませんか？

- 是非知らせたい戦争体験記(戦後六六年目)
- 学校教育制度・歴史(合併・統合・廃校等)
- 鶴屋城修築三百年について
- 環境問題エコノジーについて
- 文化九年百姓一揆から二百年、節目の年。
- 身近にある石碑、記念碑の紹介など

表紙写真解説

日輪當午塔(千人塚)

表紙の写真は、佐伯市大越荒瀬原にある通称「千人塚」と呼ばれる「日輪當午塔」である。

この塔は、今年八月に現地見学会が行われた森の木縄文遺跡(佐伯市大越字森の木)の上流約三百メートル、大越川左岸の高台にある。

この塔の高さは一メートル八十、台座三段、阿蘇凝灰岩で作られている。塔の裏面には「文政五(一八二二)竜壬午閏正月到彼岸日 功徳主(功徳主) あしかり 葛菊八郎兵衛惟繁 同為五郎惟延」とある。

塔の右面には、「夏草や兵どもが夢の跡…」の文が、左面には天徳寺の祖仙和尚と江国寺の左仁寶和尚の文「寶塔創立 名谷之陽 昔戦諍日…」と書かれた漢詩がある。又、塔の下には川井・黒沢・谷川・山口・府坂・江頭・宇山・城・岸河内・大越・市福所の十一村十三人の庄屋の名前も記されている。

この塔は、天正十四年十一月の豊薩戦争の際の戦死者に係わる供養塔である。近くに耳塚も残されている。